

子どもの意見聴取の取組

Ⅰ 実施状況

（１）「教育委員と子どもたちの意見交換会」

①目的：ふれあいの杜子ども館に来場している小学生～高校生を対象とし、教育委員と双方向的に意見交換することで、子どもたちの目線からの教育的課題を発見し、その解決のための施策を「石狩市教育プラン」に反映する。

②開催日時：令和６年９月１８日（水） １５：３０～１６：３０

③開催場所：ふれあいの杜子ども館 文化活動室

④実施方法：具体的なテーマについて、児童・生徒に自由に意見を言ってもらう

例．「好きな教科は？」「学校に行きたいとき、行きたくないときは？」

「学校がこうなれば良いと思うことはある？」「石狩市といえば何？」など

⑤参加者：１０名（小学校５年生３名、６年生４名、中学校２年生１名、３年生２名）

⑥実施風景



⑦主な意見

- ・なぜ学校に通うと思う？

⇒勉強するため、将来のため、学ぶ力を身に付けるため

- ・苦手な教科は？

⇒家庭科（調理実習）。料理について基礎的な知識がないため、失敗が多くなる

英語。発音すること自体はできるが、書き取り（ローマ字表記）が難しい。小学生の英語と比較すると、中学生英語はレベルが全然違う。

- ・好きな教科は？

⇒プール授業、裁縫、スキー学習。音楽も楽しい、歌うことが楽しい。

学校の畑や水辺に生息する微生物を顕微鏡で見るのが楽しかった。

- ・学校に行きたい時は？

⇒楽しい授業、好きな授業、イベントがあるとき（スキー授業など）

- ・学校に行きたくない時は？

⇒苦手な教科がある日、テストの日

- ・タブレットPCを使ってみてどう？

⇒とても役に立つ。調べものをする時やクラスメイト同士でチームスを活用することができる。紙（プリント）を使用するより効率が良い。

別室でリモート授業を受けるという選択肢を得られる。

毎日自宅で充電し、次の日にまた学校に持っていくのが面倒。

- ・学校がこうなれば良いのにとすることはある？

⇒土曜授業をなくしてほしい。家族との時間を大事にしたい。

学年ごとに授業時数が違うのは不平等ではないか。

- ・給食に対する希望はある？

⇒バイキング方式が良い。食べる量や食べるものを調整できるようにしてほしい。

給食を残すと先生に怒られた。食べなくても良いというルールのある学校もある。

- ・石狩のどこが好き？

⇒公園が多いこと。広くて遊具もあるので、多様な遊びができる。

- ・本を読むのは好き？図書館に行く？

⇒図書館はきれいで本がたくさんあるため、よく利用する。（10名中2名が読書習慣ありと回答）

○（子どもからの質問）なぜ校則で禁止されている髪型がある？門限があるのはなぜ？

(2) 「教育の大事なとりくみコンテスト」

①目的：こども未来館「あいぽーと」に来場している小学生～高校生を対象に、自分が頑張りたいと思う教育的取組みに投票してもらい、その結果を「石狩市教育プラン」に反映する。

②開催日時：令和6年9月30日（月）～10月6日（日）

③開催場所：こども未来館 あいぽーと

④実施方法：現行教育プランが掲げる6つの基本方針のうち、子どもたちが主体的に関わる5つの方針から、自分が頑張りたいと思うものに投票してもらう。
投票は、ポスターにシールを貼ることで行う。

※5つの基本方針⇒「いろいろなことを勉強すること」「きそく正しく生活すること」
「いじめをなくし、みんなが毎日学校へ通えること」
「うたう、おどる、絵をかく（みる）、本を読むこと」
「石狩市をすること」

⑤ポスター

きょういく だいじ
教育の大事なとりくみコンテスト

③いじめをなくし、みんなが学校へ通えること

①いろいろなことを勉強すること

④うたう、おどる、絵をかく（みる）、本を読むこと

ギョギョギョ（〇◇〇）？
これはなんでやってるカニ？

②きそく正しくせいかつすること

⑤石狩市をすること

みんなから意見をあつめて、教育をどのように進めていくか、どこに力をいれるか決めるためギョ！

？わからないことがあったら・・・石狩市教育委員会総務企画課 であわ：0133-72-3169

⑥実施風景



⑦投票結果

	小学生	中学生	高校生	計
いろいろなことを勉強すること	26	4	5	35
きそく正しく生活すること	8	5	6	19
いじめをなくし、みんなが毎日学校へ通えること	29	12	4	45
うたう、おどる、絵をかく(みる)、本を読むこと	16	4	9	29
石狩市をすること	7	4	1	12
計	86	29	25	140

(3) 札幌手稲高等学校インターン生 ワークショップ

- ①目的：石狩市役所にインターンシップ生として来庁する札幌手稲高等学校の生徒たちに、「教育委員会の点検・評価報告書（令和5年度実施分）」でB評価となっている教育的課題について、生徒の目線からの改善方法を検討し、その結果を報告してもらうワークショップを開催し、その内容を「石狩市教育プラン」に反映する。
- ②開催日時：令和6年10月17日（木）
- ③開催場所：石狩市民図書館 第1研修室
- ④対象者：札幌手稲高等学校インターンシップ生 6名（うち3名が石狩市在住）
- ⑤実施方法：「教育委員会の点検・評価報告書（令和5年度実施分）」でB評価となっている項目について、生徒の目線から改善方法を検討し、その結果を発表してもらう。

●B評価項目

i) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改革

B評価の理由：サマーセミナー・ウインターセミナーにおける授業改革の取組や、「新しいかたちの学び」を推進するため、教師によるICTを活用した対話的な学びの好事例等の発信により着実な改善が見られたが、子どもが主体となる学びについては、継続した助言・指導が必要

ii-1) 授業と連動させた宿題、家庭学習の取り組み方の指導

B評価の理由：AIドリルの導入やICT教育推進プロジェクトチームによる家庭学習の好事例の発信などにより、宿題や家庭学習の取組に充実が見られるものの、全国平均と比較して家庭学習の時間は短く、取組の改善が必要

ii-2) 中学校の試験期間に合わせた小学校の家庭学習強化週間の設定

B評価の理由：強化週間は設定されているが、家庭学習の時間が少ない。スクリーン・タイムが長時間化しており、学力保障、体力向上等に向けて家庭と連携した生活習慣の改善の取組の継続が必要

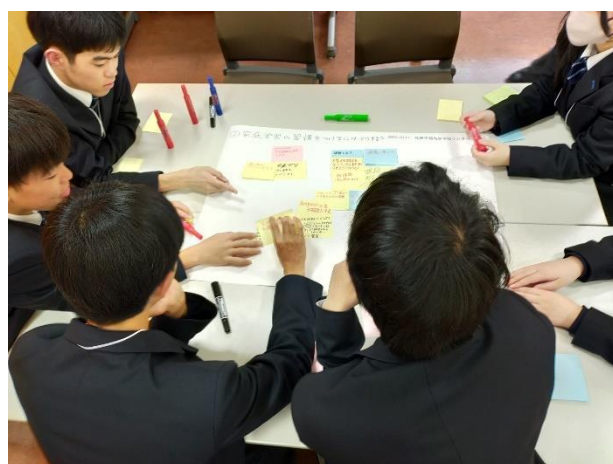
iii) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）導入による地域一体の学校運営

B評価の理由：中学校及び中学生と地域の関わりに悪化傾向が見られ、地域と中学校・中学生が一体となって活動できるような取組が必要

⑥ワークショップのテーマ

- i) どんな授業なら主体的に参加したくなる？
- ii) 家庭学習の習慣をつけるには、どうすれば良い？
- iii) 中学生が地域に係わりを持つためには、何をするべき？

⑦実施風景



⑧発表内容

i) どんな授業なら主体的に参加したくなる？

- ・自分で考える場面が多いと、主体的に授業に参加したくなる
⇒グループワークでみんなで議論しながらやる授業が良い
授業の最後に班でまとめを作る など
- ・情報端末を活用する
⇒スライドに授業のまとめを作成し、それを共有・発表する
- ・授業にゲーム性を持たせる
⇒発言ポイント制、早押しクイズの要素を導入
- ・競争性を持たせる
⇒毎授業小テストを行い、点数を公開する。テストの成績上位者を貼り出す
成績上位の人は自由に席を選べる など
- ・その他 生徒が先生となって行う授業、先生が面白い授業 など

ii) 家庭学習の習慣をつけるには、どうすれば良い？

- ・ やらざるを得ない環境を作る
 - ⇒ 課題の量、テストの回数を増やして、家庭学習せざるを得なくする
- ・ スクリーン・タイムを勉強時間に置き換えるような工夫をする
 - ⇒ スマホでもできる課題を導入する
 - その日の授業を録画し、家で情報端末で見れるようにする
 - 情報端末で提出できる課題（毎日30分程度で終わるもの）を出す など
- ・ 自分でルールを決めさせる
 - ⇒ 学習記録を作る、週の初めに学習スケジュールを立てる
- ・ 保護者にも働きかける
 - ⇒ 課題、学習記録を保護者に見てもらう
- ・ その他 学校開放で友達と課題をできる環境を作る、スマホを解約する など

iii) 中学生が地域に係わりを持つためには、何をするべき？

- ・ 学校側で行う取組
 - ⇒ 中学校の学校祭に地域の人も参加できるようにする
 - 元からある地域の行事に、学校の授業の一環として参加する
 - 授業としてボランティアをする時間を作る
 - 地域の人が授業をする時間を作る
 - 地域のことを調べる活動を行い、地域の人にそれを発表する
 - 先生も参加することで、生徒も参加しやすくなる
 - インターンシップで地域の産業や仕事について学ぶ
 - 防災訓練で地域の消防署と中学校が連携する など
- ・ 地域側で行う取組
 - ⇒ 地域のお祭りなど、イベントを増やす
 - お店でスタンプラリーを行う
 - 誰でも入れる休憩スペースを作る など

2 意見の反映状況

(1) 「教育委員と子どもたちの意見交換会」での意見

No	意見の概要	反映箇所・反映内容
1	学校に通う理由は、将来のためであり、学ぶ力を身に付けるため	「基本方針1 未来を切り拓く力の育成」に反映 『複雑化・多様化し、変化の著しい社会の中で生きるために重要なのは、「確かな学力」です』
2	学校の畑や水辺に生息する微生物を顕微鏡で見るのが楽しかった	「施策4 探求的な学習の充実」に反映 具体的取組：「観察・実験などの充実により学習の質の向上を図る授業（理科）」
3	タブレット PC はとても役に立つ。紙（プリント）を使用するより効率が良い	「施策5 情報教育の充実」に反映 具体的取組：「1人1台端末の効果的な活用」
4	タブレット PC によって、別室でリモート授業を受けるという選択肢も得られる	「施策9 学びのセーフティネット」及び「施策23 いじめ防止や不登校児童生徒への支援」に反映 具体的取組：「校内教育支援センターの設置」 ※同センター内で、リモート授業を1人1台端末で受けられる
5	学校図書館はきれいで本がたくさんあるため、よく利用する（読書習慣があるのは参加10名中2名）	「施策18 読書活動の推進」に反映 具体的取組：「ブックスタート、読み聞かせなど発達段階に応じた読書習慣を育む取組」
6	（子どもからの質問） なぜ校則で禁止されている髪型があるのか？	「施策16 こどもの権利・利益の擁護、人権教育・道徳教育の推進」に反映 具体的取組：「校則見直し、児童会・生徒会活動の充実」

(2) 「教育の大事なとりくみコンテスト」の反映

No	反映箇所・反映内容
1	「施策23 いじめ防止や不登校児童生徒への支援」に反映 「いじめをなくし、みんなが毎日学校へ通えること」が最も票を集めたことから、従前からのいじめ防止にかかる取組が、児童生徒が「いじめがいけないこと」だと思わせることに一定の効果があったと考え、従前の取組を基本的に踏襲することとし、加えて、更にいじめの未然防止を図るため、「発達支持的生徒指導の推進」を具体的取組に記載

2	「施策8 家庭教育支援の充実」に反映 「きそく正しく生活すること」の順位が低かったことを踏まえ、従前からの「生活リズムチェックシート」の取組を継続するほか、児童生徒や保護者に向けた啓発・啓蒙を行う「家庭教育専門チャンネル」に取り組む
3	「施策7 地域特性を活かした環境教育の推進」及び「施策27 ふるさとを学ぶ機会の充実」に反映 ・「石狩市をしること」の順位が低かったことを踏まえ、石狩市の脱炭素に係る取組や豊かな自然環境を学ぶことで、石狩市に興味を持ってもらうため、「施策7 地域特性を活かした環境教育の推進」を設定 ・同様に、資料館・公民館・図書館などが連携して、幅広く石狩市について学ぶ機会を提供するため、「施策27 ふるさとを学ぶ機会の充実」の具体的取組に「館NETによる学習機会の提供」を記載

(3) 「札幌手稲高等学校インターン生 ワークショップ」での意見

No	意見の概要	反映箇所・反映内容
1	自分で考える場面が多い授業は、主体的に参加したくなる	「施策1 確かな学力の育成・新しい時代に必要となる資質・能力の育成」に反映 具体的取組み：「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」
2	情報端末を活用することで、主体的に授業に参加できる	「施策1 確かな学力の育成・新しい時代に必要となる資質・能力の育成」に反映 具体的取組：「ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」
3	情報端末を活用することで、主体的に授業に参加できる	「施策5 情報教育の充実」に反映 成果指標11：「AIドリルの使用満足度において、「思う・やや思う」と回答した児童生徒の割合」
4	家庭学習の習慣をつけるには、スクリーンタイムを勉強時間に置き換えるような工夫をすると良い	「施策8 家庭教育支援の充実」に反映 具体的取組：「家庭でのAIドリル活用」
5	家庭学習の習慣をつけるには、保護者にも働きかけることが効果的である	「施策2 幼児教育との連携」及び「施策8 家庭教育支援の充実」に反映 具体的取組：「家庭教育講座の実施」
6	家庭学習の習慣をつけるには、学校開放で友達と課題をできる環境をつくと良い	「施策8 家庭教育支援の充実」に反映 具体的取組：「放課後児童クラブのWi-Fi環境の整備」 ※意見を「放課後に友達と学習できる環境を整備すること」と捉えている

7	子どもが地域に係わりを持つために、地域のお祭りなどイベントを増やすべき	「施策 17 体験活動・交流活動の充実」に反映 具体的取組：「地域・企業・青少年団体・学校等の連携により、自然体験活動や集団宿泊体験活動など様々な体験活動の充実」
8	子どもが地域に係わりを持つために、地域の人が授業をする時間を作るべき	「施策 10 学校・地域の連携・協働」に反映 具体的取組：「放課後体験学習の実施」 成果指標 23：「地域学校協働事業において、体験学習を実施している学校数」